



かわらBAN



～経済・税金・不動産情勢etc 知って得する耳より情報～

2020年2月号

新国立競技場の予算

旧国立競技場は1964年の東京オリンピック会場でしたが、老朽化と共に重要な大会は他のスタジアムに移っていきました。

東京が2020年の夏季オリンピック開催地として立候補することになった事もあり、国際大会開催の競技場として、2012年に新スタジアムの建替えが決定致しました。その為、国際デザインコンクールが行われることになりザハ・ハデイド氏の流麗なデザインが選ばれました。

しかし、そのデザインゆえ工事費が当初予算1,300億円に対し3,000億円の試算が出され、減額案でも収まらず、異例ではありますがこの案は白紙になってしまいました。(海外のオリンピックスタジアムの工事費は、400～800億円程度)そこで、再度コンクールが行われ、隈研吾氏デザインの本が特徴的なスタジアムに決まりました。総工事費は1,569億円で、国(1/2)東京都(1/4)スポーツ振興くじtoto(1/4)の費用負担でした。

紆余曲折のうえ漸く完成しましたが、
建築の際は、予算がとても大切です。
当社(株)スペースでは採算性を重視して
入居率を高める為、アパート・マンション等
最善のご提案をさせていただきますので
是非ご相談ください。



★お問い合わせ★ TEL:0120-810-281 オーナー相談室:青木・森田・今井

発行人:かわら版編集部